

年度評価シート

課名 中山間地振興課

施設の名称 静岡市南アルプス井川オートキャンプ場	指定管理者名 一般社団法人 静岡市井川振興会
1 履行状況	
(1) 目標達成状況 ア 5年後（令和9年度）の利用者数 目標値 1,215 人、実績値 1,104 人、達成率 90.9%（令和7年時点） 【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値 1,191 人 (2) 施設利用状況 ア 利用者数 1,104 人（前年度 1,178 人）（前年度比 93.7%） (3) 人員配置状況 統括責任者 1 名 従事者 1 名（兼務を認める。）※繁忙期は 3 名。 (4) 業務実施状況 静岡市南アルプス井川オートキャンプ場条例第 19 条に規定する各種業務について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。 主な事業は以下のとおり。 ア 施設の運営（利用受付など） イ 施設の維持管理（清掃、浴槽水の衛生管理など） ウ イベント（キャンプファイヤー、花火大会、燻製作り体験など） 【検証・分析等】 前年度と比較して利用者が微減している。集客を見込める夏に酷暑と熊の被害が全国で相次いだことから、利用者数が思いのほか伸びなかったことが一因と考えられる。施設の衛生管理等は適切に行われている。業務実施状況は仕様書を履行しており、今年度の履行状況は適正である。 【確認結果】 ○：協定書等の内容が適正に履行されている。	
2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）	
【具体的な意見・要望の内容と対応状況】 ① 意見等：アーリーチェックインがしたいとの問い合わせがあった。 対応等：区画サイトのため、前日の利用者との入れ替わりがあるので対応はできないことを理解いただけるよう説明した。 ② 意見等：夜間他の客がうるさいとの意見があった。 対応等：受付時に特に守ってほしい注意事項として伝えるようにした。 【検証・分析等】 利用者からの意見・要望に対しては概ね適切な対応がとられており、良好な対応がなされているといえる。 【確認結果】	

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

施設運営の参考とするため、利用者を対象にアンケート調査を実施した。

【調査結果】※アンケート結果は未回答を除く

回答者総数：15件、各項目で「満足」「やや満足」と回答した人数：14.07人（93.8%）

① キャンプサイトの満足度 95.7%（前年度93.3%）

② 温泉の満足度 92.9%（前年度91.3%）

③ 接客の満足度 92.9%（前年度100%）

【検証・分析等】

3項目の平均値で算出した満足度は93.8%（前年度94.9%）であり、良好な評価を得ている。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

前年度は約240万円の赤字だったが今年度も約130万円の赤字であった。指定管理業務についての収支状況については、支出超過が見られるが、これは人件費の上昇による支出の増加と、9月以降の利用者の減少による収益の減少等によるものと推測される。

収入については、6月の利用者数は前年比約170%、7月は約230%であったことから、熊の報道以前の気候的に過ごしやすい時期の利用者は前年度よりも増えていたことがわかる。その後、令和7年9月以降に全国的に熊の被害が報道されるようになってからの利用者数は前年度と比較して9月は約50%、10月は約30%と大幅に減少しており、酷暑に加えて全国で熊による被害が相次いだことなどの外的要因による利用控えの影響が大きかったものと考ええる。

支出については、燃料費や消耗品費について工夫して削減するなどの取り組みを行い当初の予算より削減しているが、人件費の上昇等により収入を超える支出となった。

施設の性質上、天候の影響を受けやすい部分はあるものの、令和6年度に引き続き赤字となったことから、早期の黒字化を目指し計画的な予算執行や収入増に向けた効果的な取り組みについての立案等を行い、経理状況の改善に努めることを期待したい。

また、会計帳簿類については整理されており、適正な事務処理が行われている。

【確認結果】

△：直ちに施設運営に影響を及ぼすほどではないが、今後の安定的な施設運営に向けて改善すべき点がある。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無
【検証・分析等】 指定管理業務全般について、業務仕様書や事業計画書に従い概ね良好に実施されている。事業全般については、個人のキャンパーでは体験できないキャンプファイヤーを週末に行い、夏にはアマゴのつかみ取りイベントの実施やプールの設置をするなど、利用者を楽しませる工夫がみられた。令和7年度は新たにアマゴの燻製作り体験を夏季に実施し、不具合のあったピザ釜を修繕し使用できるようにする等、様々な体験活動ができるよう努力している。 キャンプ施設や温泉の管理状況、職員の細やかな対応に対する利用者の満足度は高く、様々な年代の方が井川の豊かな自然と触れ合い、その大切さを感じていることがわかる。 施設の特性上、天候によって利用者数が増減してしまう部分はあるが、リピーターが半数以上と多く、利用者の満足度の高い施設であることから、初回の来場の動機付けとなるイベントの実施やSNSによる周知をさらに進めてほしい。 環境への意識を高め地域に親しみを持ってもらえることのできる施設であるため、引き続き、地元の指定管理者としての強みを活かし、地元住民と利用者の交流や地元の協力を得たイベントなど、地元に着目した施設運営を行い、さらなる地域振興が図られることを期待したい。 【評価結果】 ○：調査の結果が概ね良好である。	

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。